

# 衆議院安全保障委員会ニュース

平成 26. 4. 1 第 186 回国会第 4 号

4 月 1 日（火）、第 4 回の委員会が開かれました。

## 1 国の安全保障に関する件（国家安全保障戦略、平成 26 年度以降に係る防衛計画の大綱及び中期防衛力整備計画）

- ・岸田外務大臣、小野寺防衛大臣、武田防衛副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 中山 泰 秀君（自民）

- ・我が国が昨年 12 月に初めて策定した「国家安全保障戦略」と米国が本年 3 月に策定した「4 年毎の国防計画の見直し（QDR）」の対応関係について、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・20 世紀の負の遺産である北朝鮮による拉致問題を含む朝鮮半島情勢や昨今のウクライナ情勢を踏まえ、国防意識を国民も含めて我が国全体で高めていくべきと考えるが、内閣官房の見解を伺いたい。
- ・自衛官の処遇向上や福利厚生の実を充実を図る必要があると考えるが、防衛省の見解を伺いたい。

### 伊 佐 進 一君（公明）

- ・南極地域に関しては、同地域の平和的利用を目的とした南極条約があるが、北極海については、どのような国際取極や国際的な協議機関が存在するのか、外務省に伺いたい。
- ・我が国がオブザーバー参加している北極評議会に対し、我が国の影響力を確保する方策について、内閣官房の見解を伺いたい。
- ・地球温暖化による北極海の氷の縮小に伴う北極海沿岸国等の動向が我が国の安全保障環境に与える影響について、防衛省の見解を伺いたい。

### 中 川 正 春君（民主）

- ・北朝鮮による拉致問題に対しては、同様の被害を受けている他国、特に韓国と連携して北朝鮮に解決を迫る必要があると考えるが、岸田外務大臣の認識を伺いたい。
- ・韓国及び中国との関係を悪化させている安倍総理大臣の政治姿勢は、アジアの安定化や米国の利益にも繋がらず、我が国を孤立させることになるかと考えるが、岸田外務大臣の認識を伺いたい。
- ・ミャンマーのように中央政府と少数民族の間に紛争が発生している国への支援については、欧米諸国に倣い、中央政府を通さずに紛争地域へ直接支援を行い、我が国が

両者の和平交渉に影響力を持つなどの戦略性が必要であると考えますが、岸田外務大臣の認識を伺いたい。

### 宮 沢 隆 仁君（維新）

- ・防衛省は、平成 22 年 4 月に防衛医科大学校病院の独立行政法人化を見送ったが、独立行政法人化を再検討する必要性の有無について、同省の見解を伺いたい。
- ・自衛隊病院においては、収支が悪いにもかかわらず、病床利用率は一般病院に比べて低く、このような状況を改善する必要があると考えるが、防衛省の見解を伺いたい。
- ・防衛医科大学校及び自衛隊病院並びに自衛隊医療を強化する方策について小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。

### 中 丸 啓君（維新）

- ・今般策定された中期防衛力整備計画（以下「中期防」という。）においては、水陸両用車を 52 両調達することとされているが、参考品として購入する車種に対する評価試験を行う前に、調達予定時期や数量が決定していることは不自然ではないのか、防衛省に伺いたい。
- ・防衛省は水陸両用車をどのような場所や状況で運用すること想定しているのか、同省に伺いたい。
- ・水陸両用車の管理・運用は、陸上自衛隊ではなく、海上自衛隊などが行うべきと考えるが、防衛省の見解を伺いたい。

### 三 谷 英 弘君（みんな）

- ・自衛隊の防衛出動に係る国会の事前承認には、どの程度の期間が必要と考えているのか、小野寺防衛大臣の認識を伺いたい。
- ・自衛隊による島嶼奪還のための上陸作戦を行う水陸両用部隊に対する自衛隊航空機及び艦船の支援能力に関する防衛省の見解を伺いたい。
- ・中国のファーウェイ・テクノロジーズ（華為技術）社製の電子機器に関しては、外部への情報流出などの安全保障上の危険性が指摘されているが、その対応策について、

内閣官房に伺いたい。

### **赤 嶺 政 賢君 (共産)**

- ・水陸機動団（仮称）の新編に関し、強襲揚陸作戦を行うような海兵隊的機能を有する部隊が、なぜ我が国に必要であると考えているのか、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・自衛隊の水陸両用部隊の新編は、米軍が矛であり自衛隊が盾であるという両者の役割分担の見直しに繋がるのか、小野寺防衛大臣の認識を伺いたい。
- ・安倍政権下において首脳間の対話が行われていない日中関係の現状を打開する方策について、岸田外務大臣の見解を伺いたい。

### **村 上 史 好君 (生活)**

- ・我が国による集団的自衛権行使の容認を政府が決めた場合、国家安全保障戦略は見直すこととなるのか、岸田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・我が国が領域外で攻撃を受けた場合、米国が集団的自衛権を行使するためには、我が国が他国から攻撃を受けたという事実を公表し、かつ、我が国が米国に対して集団的自衛権の行使を要請するという手続が必要になるのか、外務省の見解を伺いたい。

- ・4月に予定されている日米首脳会談においては、靖国問題や歴史認識問題等における両国の認識の相違を克服し、両国の東アジアにおける安全保障戦略について十分に協議する必要があると考えるが、岸田外務大臣の見解を伺いたい。

### **照 屋 寛 徳君 (社民)**

- ・中期防で新編することとなった我が国南西地域の島嶼部の初動を担任する陸上自衛隊警備部隊の配備先について、2月23日付琉球新報が、石垣島の八島町新港地区と宮良のサッカーパーク「あかんま」を候補地として最終調整していると報じたが、両地区が候補地となっているのかどうかについて、小野寺防衛大臣に伺いたい。
- ・4月6日を軸に調整中の小野寺防衛大臣とヘーゲル米国防長官との会談においては、普天間飛行場の5年以内の運用停止について協議すべきと考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・菅官房長官が3月26日の記者会見で、横浜市内の在日米軍施設「深谷通信所」及び「上瀬谷通信施設」の返還時期の合意は、仲井眞沖縄県知事の辺野古埋立承認で日米間の信頼関係が回復した結果である旨述べたが、岸田外務大臣及び小野寺防衛大臣も同様の認識であるのか伺いたい。